

椎名麟三 小説家。変転の後、戦後文学の記念碑「深夜の酒宴」で登場、一時代を画し、キリスト教の真率な生涯。

しいなりんぞう

大逆事件判決1911 = 兵庫県の現在の姫路市で長男に生れ、

明治天皇没・1912 = 1歳： 両親の不和により、不幸のうちに育ち、

大暴落・・・1920 = 9歳：

原敬首相暗殺1921 = 10歳：

治安維持法・1925 = 14歳：家出した。
以後、果物屋の小僧、出前持ち、見習いコックなど転々の末、

共産党事件・1928 = 17歳：宇治川電鉄に入社。やがて共産黨員になるが、

世界恐慌・・・1929 = 18歳：

満州事変・・・1931 = 20歳：検挙され入獄。
この間ニーチェ、キルケゴールなど実存主義の思想にふれて、
国際連盟脱退1933 = 22歳：出所。

日中戦争始・1937 = 26歳：

健保+総動員1938 = 27歳：_ドストエフスキーから決定的な影響を受けて、文学にむかい、

日米開戦・・・1941 = 30歳：

敗戦・・・1945 = 34歳：

新憲法施行・1947 = 36歳：*戦後文学の記念碑的作品ともいべき「深夜の酒宴」をもって登場。以後「重き流れのなかに」、
極東裁判判決・1948 = 37歳：_「永遠なる序章」、

朝鮮戦争始・1950 = 39歳：_キリスト教に入信。

独立回復・・・1951 = 40歳：*「赤い孤独者」などの実存主義的作風は、戦後文学の一時期を代表するものとなり、

メデ-事件・1952 = 41歳：_「邂逅」、

自衛隊発足・1954 = 43歳：_「自由の彼方で」、

55年体制始・1955 = 44歳：*「美しい女」などに、ニヒリズムの超克を目指す独自の宗教的作風を示した。

国連加盟・・・1956 = 45歳：

なべ底不況・1957 = 46歳：_以降、心臓病との闘いが続き、

その庶民的日常性と観念の渾融は、小説のみならず、
安保闘争・・・1960 = 49歳：_「蠍を飼う女」ほかの戯曲にもすぐれた成果をみせたが、

大学紛争始・1965 = 54歳：

全共闘・・・1969 = 58歳：*「悪役人の告発」を最後の長編として、

石油ショック1973 = 62歳：_キリスト教作家としての真率なる生涯を閉じた。